

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	医療ビジネス科	夜・通信	854 時間	160 時間	
工業専門課程	情報システム科 IT ビジネスコース	夜・通信	1,178 時間	160 時間	
	情報システム科 システムエンジニアコース	夜・通信	1,156 時間	160 時間	
教育社会福祉専門課程	こども福祉科	夜・通信	32 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	出雲市教育長	平成31年4月1日～令和3年3月31日	地域における学校教育の質を確保
非常勤	雲南市教育長	平成31年4月1日～令和3年3月31日	地域における学校教育の質を確保
非常勤	出雲商工会議所会頭	平成31年4月1日～令和3年3月31日	業界における学校教育の質を確保
非常勤	C21 役員	平成31年4月1日～令和3年3月31日	学校運営に係るチェック機能
非常勤	C21 役員	平成31年4月1日～令和3年3月31日	学校運営に係るチェック機能
非常勤	学校法人古河コア学園 理事長	平成31年4月1日～令和3年3月31日	学校運営に係るチェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>①作成過程 教育目標及び策定された方針と教務部会議での審議に基づき、作成したものを体系的にまとめ、科目間の連携を明確化している。</p> <p>②作成・公表時期 全ての授業科目担当教員が3月中旬までに作成し、年度初めのオリエンテーション時に配布するとともに、出雲コアカレッジホームページで公表。 (教務関連事項に変更がある場合は、その都度項目を配布するとともに説明を行っている。)</p> <p>③成績評価 各学年の前期、後期終了時に実施。</p>	
授業計画書の公表方法	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。通年科目の成績の評価は当該科目終了学期に行う。 その評価は次のとおりとする。</p> <p>・ 80点 ～ 100点 ----- A (優) ・ 70点 ～ 79点 ----- B (良) ・ 60点 ～ 69点 ----- C (可) ・ 60点未満 ----- F (不可)</p> <p>試験において不正行為のあった者は、その学期の履修科目すべてを不認定とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績の評価については試験の素点（教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる）とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。</li> <li>・学科（コース）単位で全科目の合計点の平均を算出（100点満点）する。</li> <li>・成績一覧を作成の後、教務会議等にて認定している。</li> <li>・学期末には成績表を保護者宛に郵送している。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>&lt;医療ビジネス科・情報システム科&gt; 各学科ともに履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、年度末の卒業判定会議（2月末）を経て学校長が卒業を認定する。</p> <p>&lt;こども福祉科&gt; 教育課程に基づく指導計画に従って授業科目を履修し、授業科目の履修状況及び試験の結果が学則別表2「学習評価基準」に定める評価基準を満たしていると認められる者に対して、年度末の卒業判定会議（3月初旬）を経て全課程の終了を認め、卒業証書及び教育、社会福祉専門課程の称号を授与する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
財産目録	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
事業報告書	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
監事による監査報告（書）	出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	医療ビジネス科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,888 単位時間/単位	1,104 時間	48 時間	736 時間	0 時間	0 時間
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		10人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画について、年度ごとに作成し、新年度開始時に印刷して学生に配布するとともに、出雲コアカレッジのホームページ上に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。 通年科目の成績の評価は当該科目終了学期に行う。 その評価は次のとおりとする。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 80点 ～ 100点 ----- A（優）</li> <li>・ 70点 ～ 79点 ----- B（良）</li> <li>・ 60点 ～ 69点 ----- C（可）</li> <li>・ 60点未満 ----- F（不可）</li> </ul>
試験において不正行為のあった者は、その学期の履修科目すべてを不認定とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は卒業を認定される。
学修支援等
（概要） 個別面談、補習、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 ( 0%)	7人 ( 100%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 商業実務業界 病院 など			
（就職指導内容） 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターシップ、カンセリング、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医師事務作業補助技能認定試験 等			

(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	2 人	15%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業	情報システム科 IT ビジネス コース	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,926 単位時間/単位	576 時間	48 時間	1,302 時間	0 時間	0 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		16人	0人	5人	4人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画について、年度ごとに作成し、新年度開始時に印刷して学生に配布するとともに、出雲コアカレッジのホームページ上に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。 通年科目の成績の評価は当該科目終了学期に行う。 その評価は次のとおりとする。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 80点 ～ 100点 ----- A（優）</li> <li>・ 70点 ～ 79点 ----- B（良）</li> <li>・ 60点 ～ 69点 ----- C（可）</li> <li>・ 60点未満 ----- F（不可）</li> </ul>
試験において不正行為のあった者は、その学期の履修科目すべてを不認定とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は卒業を認定される。
学修支援等
（概要） 個別面談、補習、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 工業実務業界 IT 関連会社 など			
（就職指導内容） 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターンシップ、カンセリング、模擬面接			
（主な学修成果(資格・検定等)） IT パスポート、基本情報技術者試験 等			



(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状 情報システム科 I T ビジネスコース		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	1 人	10%
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業	情報システム科システムエンジニアコース	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,976 単位時間/単位	522時間	162時間	1,292時間	0時間	0時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		27人	0人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画について、年度ごとに作成し、新年度開始時に印刷して学生に配布するとともに、出雲コアカレッジのホームページ上に公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。 通年科目の成績の評価は当該科目終了学期に行う。 その評価は次のとおりとする。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 80点 ～ 100点 ----- A（優）</li> <li>・ 70点 ～ 79点 ----- B（良）</li> <li>・ 60点 ～ 69点 ----- C（可）</li> <li>・ 60点未満 ----- F（不可）</li> </ul>
試験において不正行為のあった者は、その学期の履修科目すべてを不認定とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は卒業を認定される。
学修支援等
（概要） 個別面談、補習、補講

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 工業実務業界 IT 関連会社 など			
（就職指導内容） 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターシップ、カンセリング、模擬面接			
（主な学修成果(資格・検定等)） 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験 等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	1 人	3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		教育社会福祉	こども福祉科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,892/119 単位時間/単位	1,202/78	480/34	180/6	0/0	30/1
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	12人	0人	6人	11人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画について、年度ごとに作成し、新年度開始時に印刷して学生に配布するとともに、出雲コアカレッジのホームページ上に公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。 通年科目の成績の評価は当該科目終了学期に行う。 その評価は次のとおりとする。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 80点 ～ 100点 ----- A (優)</li> <li>・ 70点 ～ 79点 ----- B (良)</li> <li>・ 60点 ～ 69点 ----- C (可)</li> <li>・ 60点未満 ----- F (不可)</li> </ul>
試験において不正行為のあった者は、その学期の履修科目すべてを不認定とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 教育課程に基づく指導計画に従って授業科目を履修し、授業科目の履修状況及び試験の結果が別表2「学習評価基準」に定める評価基準を満たしていると認められる者に対して、全課程の終了を認め、卒業証書及び教育、社会福祉専門課程の称号を授与する。その他卒業認定会議を実施。

学習支援等
(概要) 個別面談、補習、補講

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 教育社会福祉業界 保育所 児童福祉施設 など			
(就職指導内容) 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターシップ、カウンセリング、模擬面接			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士 等			

(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療ビ ジネ科	150,000 円	360,000 円	490,000 円	
情報シ ム科 IT ビ ジネコース	150,000 円	360,000 円	490,000 円	
情報シ ム科システム エンジニア コース	150,000 円	360,000 円	490,000 円	
こども 福祉科	150,000 円	310,000 円	490,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程において、自己評価・学校関係者評価・財務情報をHPにて公開し、学校運営や教育活動の質の向上及び学校運営の改善や強化を行っている。</p> <p>①主な評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標、学校運営、教育活動、学生支援、教育環境、財務、地域貢献についてなど</li> </ul> <p>②評価委員の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者、保護者、卒業生など</li> </ul> <p>③評価の活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価委員には事前に自己評価報告書や学校評価報告書に関する資料を配布した上で指導や意見を伺っている。その評価や意見をもとに職員会議などで意見交換を行い改善に向けて取り組んでいる。</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
島根県議会議員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	学識経験者
出雲市議会議員	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	学識経験者
前出雲商業高等学校学校長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	学識経験者
斐川町商工会議所事務局長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業関係者
NPO 法人ビジネスポートひかわ 事務局長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業関係者
出雲コアカレッジ保護者会会長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	保護者
出雲コアカレッジ卒業生	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	卒業生
伊波野保育園園長	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	学識経験者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 出雲コアカレッジホームページで公表 <a href="http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/">http://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</a>
---